

Ⅱー構成と基本方針

1. 総合戦略の構成

将来像

心豊かに、誰もが夢を描ける町へ—— Be a dreamer.
ときめくまち、福智町。

地域ビジョン
(国の総合戦略)

【モデル地域ビジョン例】

- スマートシティ・スーパーシティ
- 「デジ活」中山間地域
- 大学を核とした産学官共創都市
- SDGs未来都市
- 脱炭素先行地域

【重要施策分野の例】

- 地域交通のり・デザイン
- 地方創生スタートアップ
- 地方創生テレワーク
- 地方公共団体間の連携によるこども施策
- 教育DX
- 住民に身近な場所を活用した遠隔医療
- 多様な暮らし方を支える人間中心のコンパクトなまちづくり
- 観光DX
- デジタル技術を活用した地域防災力の向上
- ドローン利活用

目標

数値目標

基本的方向

具体的な施策

継続事業

新規事業

国の総合戦略の「取組方針」に該当

【国の総合戦略の方向】

- (1) デジタルの力を活用した地方の社会課題解決・魅力向上
 - ① 地方に仕事をつくる
 - ② 人の流れをつくる
 - ③ 結婚・出産・子育ての希望をかなえる
 - ④ 魅力的な地域をつくる
- (2) デジタル実装の基礎条件整備
 - ① デジタル基盤整備
 - ② デジタル人材の育成・確保
 - ③ 誰一人取り残されないための取組

重要業績評価指標 (KPI)

Ⅱ 構成と基本方針

2. 地方創生における政策5原則



口減少克服・地方創生を実現するため、次の5つの政策原則に基づき施策を展開する。

- 1 自立性** 地方公共団体・民間事業者・個人等の自立につながるような施策に取り組む。
- 2 将来性** 施策が一過性の対症療法にとどまらず、将来に向かって、構造的な問題に積極的に取り組む。
- 3 地域性** 地域の強みや魅力を活かし、その地域の実態に合った施策を、自主的かつ主体的に取り組む。
- 4 総合性** 施策の効果をより高めるため、多様な主体との連携や、他の地域、施策との連携を進めるなど、総合的な施策に取り組む。その上で、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるため、直接的に支援する施策に取り組む。
- 5 結果重視** 施策の結果を重視するため、明確なPDCAメカニズムの下に、客観的データに基づく現状分析や将来予測等により短期・中期の具体的な数値目標を設定した上で施策に取り組む。その後、政策効果を客観的な指標により評価し、必要な改善を行う。

3. デジタル社会で目指す6つの姿



は、「デジタル社会の実現に向けた重点計画」において、デジタルの活用により目指す社会の姿を次のとおり示しており、これらを踏まえて、本町においてもデジタル社会の形成に取り組むものとする。

- 1 デジタル化による成長戦略**
社会全体の生産性・デジタル競争力を底上げし、成長していく持続可能な社会を目指す。
- 2 医療・教育・防災・こども等の準公共分野のデジタル化**
データ連携基盤の構築等を進め、安全・安心が確保された社会の実現を目指す。
- 3 デジタル化による地域の活性化**
地域の魅力が向上し、持続可能性が確保された社会の実現を目指す。
- 4 誰一人取り残されないデジタル社会**
誰もが日常的にデジタル化の恩恵を享受できるデジタル社会の実現を目指す。
- 5 デジタル人材の育成・確保**
デジタル人材が育成・確保されるデジタル社会を実現する。
- 6 DFFT*の推進をはじめとする国際戦略**
国境を越えた信頼性ある自由なデータ流通ができる社会の実現を目指す。

* DFFT：「Data Free Flow with Trust」の略称。信頼性のある自由なデータ流通の促進を目指すコンセプトのこと。